

1.計画名称  
工業振興ビジョン

2.計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	おおむね順調	<p>(R4評価) 市内製造業においては、自動車業界の生産調整や中国経済の減速に伴う工作機械等の輸出の低減による受注減の中、賃金の据え置きにより、また、人手不足及び賃料・エネルギー価格の高騰により、生産性や経営基盤強化のための設備投資等がある。国の交付金活用や補助制度の拡充等により、企業支援を普及してきてはいるものの、DX、GX等への取り組みや自動車等のEV化へのシフト対応など経営戦略的な課題もあり、支援体制の強化が必要である。</p> <p>(総合評価) -米中貿易摩擦や新型コロナウイルスによるサプライチェーンの寸断、ウクライナ危機等の影響の中、市内製造業においては、賃金の据え置きにより、また、人手不足及び賃料・エネルギー価格の高騰により、生産性や経営基盤強化のための設備投資等がある。国の交付金活用や補助制度の拡充等により、企業支援を普及してきてはいるものの、DX、GX等への取り組みや自動車等のEV化へのシフト対応など経営戦略的な課題もあり、支援体制の強化が必要である。</p>
今後の重点化施策番号	2	説明

3.各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	産学公等連携事業の推進(3)	おおむね順調	<p>(R4評価) *スワリカブランド創出事業の終了後、先端技術活用連携事業として大学と協定し、実証事業を継続している。 *産学公連携によるスワリカブランド創出事業によって得られた成果を社会実装することを目的とした事業推進ベンチャー「3IoT株式会社」が設立された。 *産業振興プラザの運営では、新型コロナウイルスの影響を受けた企業等へ訪問し、IoT・AI活用、事業承継、雇用相談、補助金案内、受発注紹介等の支援を行った。</p> <p>(総合評価) *茅野市の地域経済活性化は、単一度業の振興のみでし得るものではなく、国・県機関や各種支援機関との連携を促進する。また、茅野・産業振興プラザの役割や機能を一層強化し、技術向上、開発力強化、人材確保・育成など、市内事業者が抱える課題解決や経営基盤強化のために、事業者が産学公等連携に取り組みやすい環境整備と支援制度の充実を図る。</p>	<p>(R4・総合評価共通) *実証事業の継続により、水位計の製品化、事業化に関心をもち企業参入と具体化を進捗させていくが課題。 *産業振興プラザの運営では、企業の情報収集を積極的に進め、関係機関と連携した支援活動につなげていく必要がある。</p>	<p>(R4・総合評価共通) *水位計等の実証結果について検証し、新たな展開による有効活用を検討し、成果の事業化に向けた取り組みを強化する。 *プラザ運営ではDX、GX、事業承継等といった取り組みが求められる中小企業への受発注支援、情報発信、技術相談等、より関係機関との連携を充実させ対応する。</p>
2	企業の生産基盤強化と立地支援(1)	順調	<p>(R4評価) *中小企業振興補助金の申請件数は目標を下回ったが、大規模設備投資があった。 *労働環境改善補助金にAI・IoT化に関する補助を加えたが、申請はなかった。 *県外IT企業誘致補助についても申請はなかった。 (総合評価) *中小企業振興補助金申請件数は見込んでいた数値より下回ったものの、大規模案件があり、設備投資の下支えになっている。 *労働環境改善補助金は創設以来安定して活用があり、企業からの評価も高い制度となっている。IT関係の立地はワークラボ内に留まっている。</p>	<p>(R4・総合評価共通) *企業立地相談や空き工場の問い合わせがあるものの、物件不足等がある。 *工場のAIoT化に向けた取組やゼロカーボンに対応した企業の経営基盤強化が急務である。 *工業団地は、達成から30年を越え、借主管理等の経営が高水準にある。</p>	<p>(R4・総合評価共通) *企業のAIoT化を促す補助メニューを運用制度で拡充した。 *実習により企業活動が支援を求まないように工業団地内の計画的な整備を誘導事業や中部電力などと連携し進める。 *企業の経営基盤強化に向けた国等の補助制度等を促す支援を行う。</p>
3	企業の育成と人材育成(2)	順調	<p>(R4評価) *労働生産性を高める人材育成への支援は概ね目標どおりであった。 *受発注拡大を支援する工業団地への支援は、新規採択件数が目標を上回り、企業の受注に繋がった。 *ものづくりネット茅野のアクセスが増加し、企業PRIに繋がっている。 (総合評価) *人への投資は近年企業も注目しており、申請件数は安定し、確実に支援に繋がっている。 *新型コロナウイルス感染症の影響で補助金事業の中止や見本等等の中止など、販路開拓が制約される中、受発注拡大補助金やものづくりネットは企業PRIに繋がっている。</p>	<p>(R4・総合評価共通) *人手不足に悩む中小企業にとって、人材育成に取り組む余裕がない状況にある。 *企業へ出展する新規企業が少なく、出展しやすい環境づくりが求められている。</p>	<p>(R4・総合評価共通) *企業の人材育成や技術継承は、長期的な視野が必要であり、工業団地への出展補助など、市の支援制度の継続は必要である。</p>
4	新分野・独自技術製品開発等への支援(3)	順調	<p>(R4評価) *新技術製品開発支援事業補助金の申請件数は2件であった。 *コロナの影響を受けつつも、ワークラボハブを核に交流促進等の一定の成果は得られている。 (総合評価) *コワーキングスペースは、利用促進イベント等の成果から様々な職種の方に利用され稼働率は堅調である。今後さらなる利用促進のための施策を実施し、関係人口・実業人口の流入を図っていく。</p>	<p>(R4・総合評価共通) *世界的な環境変化に対応できる企業体質強化のため、企業がインダストリアルチャレンジできる環境づくりを整える必要がある。 *コワーキングスペースの新しい指定管理者のもと、以降の運営について検討する必要がある。</p>	<p>(R4・総合評価共通) *技術改良や知財取得のためのメニューを増やしインダストリアルチャレンジを促す。 *全国的にテレワークやワーケーション等推進の動きを踏まえ、ワークラボハブを拠点として地域のワーケーション推進体制及び広域連携ビジネス交流推進体制を構築する。</p>
5					

※5つ以上の場合は裏面へ

4.関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

		主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加者人数			
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加者人数			
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加者人数			